

ボランティア活動の全国展開

～新しい「公共」の創造を目指して～

平成17年度要求額 1,000百万円(新規)

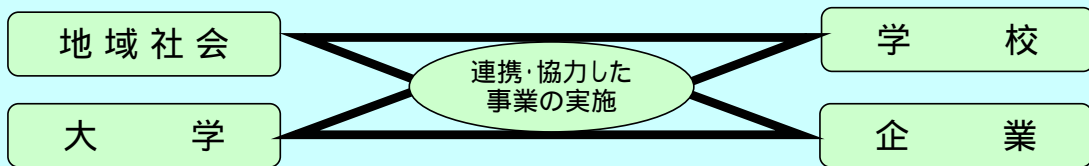
1. ボランティア活動広報啓発・普及事業

53百万円

- (1)「ボランティア活動推進フォーラム」の開催
「全国ボランティア活動推進フォーラム」の開催(優良事業の成果発表,表彰等)
全国5ブロックにおける「ボランティア活動推進フォーラム」の開催
- (2)全国規模での広報啓発・普及活動の実施
イメージキャラクターを活用した広報・啓発(ポスターの作成,ボランティアホームページの開設等)
企業との協働による商品を活用したキャンペーンの実施

2. 地域ボランティア活動推進事業(地域教育力再生プラン)

947百万円



市町村ぐるみの事業(235地域)

年間を通じて定期的又はある程度長期にわたって行うボランティア活動の実施
「ボランティア週間」,「親子で取り組むボランティア」,
「ボランティアパスポート」などの活動プログラムの開発

ボランティア活動の例

- ・子どもから高齢者までが一緒に参加する花植えボランティア活動
- ・公園,道路,河川などの清掃ボランティア活動 など

高校生対象事業(376地域)

年間を通じて定期的又は長期休業期間中におけるボランティア活動の実施
高等学校における単位化につながるボランティア活動の実施

ボランティア活動の例

- ・ホームヘルプ,デイケアなどの介護ボランティア活動
- ・幼児(子ども)への本の読み聞かせボランティア活動
- ・地域の祭りやスポーツ大会でのイベント支援ボランティア活動 など

支援センターの機能の充実(94地域)

地元の大学や企業と連携・協力し,機能の充実を図る。
NPO,ボランティア団体等との連携により,行政に代わり支援センターの機能を引き継ぐような体制の整備。(官から民へ)

企業人対象事業(141地域)

企業ぐるみ(社会貢献活動)でのボランティア活動プログラムの開発
「ボランティア休暇制度」を積極的に活用したボランティア活動の実施

ボランティア活動の例

- ・IT関連企業によるパソコン支援ボランティア活動
- ・保険,製薬関連会社による健康相談ボランティア活動 など

大学生対象事業(141地域)

年間を通じて定期的又は長期休業期間中におけるボランティア活動の実施
「ボランティア休学制度」や「単位認定制度」を積極的に活用したボランティア活動の実施

ボランティア活動の例

- ・子どもの環境学習支援ボランティア活動
- ・高齢者,障害者の住宅改修(日曜大工)ボランティア活動 など

47都道府県×21地域=987地域

地域社会の活性化と,その下での地域の教育力の再生
ボランティア活動の継続的・総合的な推進

地域ボランティア活動推進事業の実施イメージ

地域社会(市町村レベル)【987地域】

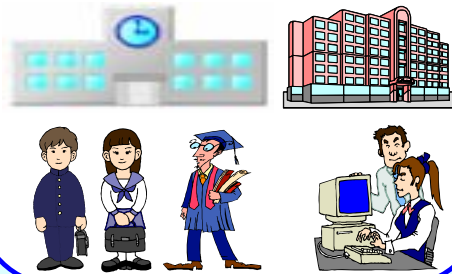
実行委員会

ボランティア活動プログラムの企画・立案
指導者・協力ボランティアの確保
事業評価の実施、報告書の作成・配布

募集
(市広報・チラシ等)

対象

地域住民(子どもから高齢者まで)
高校生・大学生・企業人



参加

参加

定期的又はある程度長期にわたった活動

対象: 地域住民, 高校生, 大学生, 企業人
定員: それぞれ30名
開催回数: 月1回×10ヶ月

オリエンテーションの実施
・マニュアルによる説明(活動内容, 日程等)
・安全対策について説明等



活動の実施

長期休業期間中における活動

対象: 高校生, 大学生
定員: それぞれ30名
開催期間: 長期休業期間中(年1回【14日間連続】)

オリエンテーションの実施

活動の実施

ボランティア活動の例

全員又はグループ(例: 10名×3グループ)によるボランティア活動の実施(指導者・協力ボランティアによる活動支援)。

国道・県道脇などでの花植えボランティア活動
公園, 道路, 河川などの清掃ボランティア活動
ホームヘルプ, デイケアなどの介護ボランティア活動
幼児(子ども)への本の読み聞かせボランティア活動
祭りやスポーツ大会でのイベントボランティア活動
高齢者, 障害者の住宅改修(日曜大工)ボランティア活動
企業人によるチャリティーコンサートの実施 など



主な活動場所
・独居老人宅や老人ホームなどの社会福祉施設
・図書館, 公民館等の社会教育施設や青少年教育施設 など

事業成果の波及

ボランティア活動の全国展開

ボランティア活動支援センター

独立運営委員会の設置

(構成員7名, 年間10回開催)
現在の機能の充実及びその運営主体を「行政」から「民間」へ移行するための方策について, 地元の大学・企業・NPO及びボランティア団体等との連携・協力を図りながら検討を行う。

マネジメント研修の実施(年間10回開催)



民間主導による運営に向け, ボランティア等によるネットワーク組織を結成し, 経営管理, 運営手法, リーダー育成に関する研修を実施。

ボランティア活動広報啓発・普及事業

ボランティア活動推進フォーラムの開催

文部科学省
全国フォーラム企画・審査・選定委員会の設置

構成員12名,年間10回開催
企画・立案,内容検討,出演者選定等
広報の実施(広報誌・番組等)
事例集・報告書の作成・配布



地方5ブロック(都道府県)
フォーラム企画委員会の設置

構成員7名,年間5回開催
企画,内容検討,出演者選定等
広報の実施(広報誌・番組等)
報告書の作成・配布

ブロック別フォーラムの開催
(ブロック:北海道・東北,東海・北陸,近畿,中国・四国,九州)

基調講演(1人)
事例発表(3人)
シンポジウム(パネリスト5人)
定員:350名



審査・選定委員会
「地域ボランティア活動推進事業」における各地域の実施事例のうち,優良事例の審査選定を行う。

ボランティア活動推進全国フォーラムの開催

基調講演(1人)
事例発表(3人)
地方ブロックフォーラム報告(5人)
シンポジウム(パネリスト5人)
定員:1,000名

優良事例地域等の表彰
「審査・選定委員会」の報告に基づき,優良事例地域を表彰する。
さらに,標語募集入賞者に対する表彰も行う。



広報啓発・普及活動の実施

イメージキャラクターを活用した広報啓発

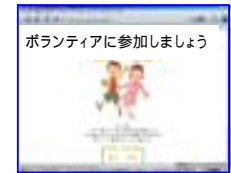
ポスターの作成・配布



ボランティア
73,200枚作成

小・中学校,社会
教育施設等へ配
布

ホームページの開設



ねらい
子どもに対してボランティアへの興味・関心引きつけ,学校や家庭,そして地域への波及効果をねらう。

企業との協働による商品等を活用したキャンペーンの実施

標語の募集等

ボランティア活動に関する標語を募集し,審査のうえ,入賞者に対し表彰する。



シンボルマークの作成



ねらい
国民全般に対して,ボランティア活動に関する気運の醸成を図る。

国民一人一人が,ごく自然に,日常的にボランティア活動を行い,相互に支え合うような地域社会の実現